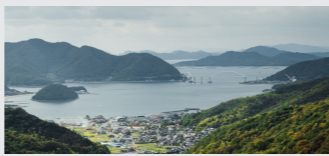


道の駅アリストぬまくま再整備基本計画・概要版

1 再整備の背景と目的

道の駅アリストぬまくまは1996年に旧沼隈町が設置した福山市唯一の道の駅で、新鮮な魚介や野菜が並ぶ自由市場、ハーブガーデン、地元食材を楽しめるレストランなどが親しまれてきました。周辺には鞆の浦や阿伏兎観音などの観光資源や多様な産業が集積しています。一方で老朽化や駐車場不足が課題となる中、鞆未来トンネル開通や国の第3ステージ応援パッケージ選定を契機に、「地域振興」と「観光振興」の両輪で、南部地域の持続的な発展に貢献することを目的としています。



「提供」福山観光コンベンション協会

コンセプト

タイケン、ハッケン、極上ぬまくま

～ひと（生産者・消費者）・もの（産業）・こと（体験）を育む福山市の南の玄関口～

方向性

- ① 地域住民が主体となる「交流・活動拠点」
- ② 「地域の魅力」を最大限に引き出す拠点
- ③ 持続可能な「地域経済」の一助となる施設
- ④ 環境に配慮した「安心・快適」な施設

3 施設整備計画

施設整備計画として導入機能の設定を行います。再整備後の計画駐車台数については、小型車130台、大型車9台と算出しました。

利用者のための機能（2029年度（令和11年度）開業時）

No.	機能	項目(グループ)	項目	評価	No.	機能	項目(グループ)	項目	評価
1	休憩機能	トイレ	男子トイレ	A	地域振興機能	多目的スペース	イベント広場（屋内）	A	
2			女子トイレ	A			イベント広場（屋外）	A	
3			多目的トイレ	A		子育て支援スペース	A		
4			こども用トイレ	A		授乳室	A		
5		駐車場	小型	A		キッズコーナー	B		
6	大型		A	図書館との連携	A				
7	EV用		B	図書館との連携スペース	A				
8	情報発信機能	情報コーナー	道路情報・地域の観光・体験情報・イベント情報	A	観光・体験機能	サイクリングロードの中継拠点	レンタサイクル	B	
9			地域情報交流スペース	A		メンテナンススペース	A		
10	地域連携機能	産直市	売場	A	特産品コーナー	地域特産物販売コーナー	A		
11			飲食	レストラン	A	ばらのまち福山のPR	ばらのまちPRスペース	B	
12		コミュニティカフェ		A	体験コーナー	地産創造スペース	A		
			防災機能	A	その他	防災設備	A		

道の駅従事者のための機能（2029年度（令和11年度）開業時）

No.	機能	項目(グループ)	項目	評価	No.	機能	項目(グループ)	項目	評価
25	道の駅従事者のための機能	産直市	バックヤード等	A	26	道の駅従事者のための機能	オフィスエリア	事務室等	A

利用者のための機能（2029年度（令和11年度）以降）

No.	機能	項目(グループ)	項目	評価	No.	機能	項目(グループ)	項目	評価
27	休憩機能	シャワールーム	コインシャワー・更衣室	C	30	観光・体験機能	アクティビティ	裏山や川の利活用	C
28	地域連携機能	飲食	BBQコーナー等	C	31	その他	ペット用スペース	ドッグラン	C
29	観光・体験機能	ハーブガーデン	ガーデン及び温室	C	32		サテライト	敷地外施設	C

A：開業時に不可欠な機能 B：予算や規模を考慮し同年度の設置を検討するもの C：時代の要請に応じて将来的に検討するもの

これまでの検討経緯

2025年（令和7年）6月 道の駅アリストぬまくま再整備基本構想の策定

再整備の方向性・コンセプト・ターゲットの設定等

（利用者アンケート等の基礎調査や、道の駅アリストぬまくまあり方懇談会における基本構想の検討等）

2025年（令和7年）4月『道の駅』第3ステージ応援パッケージ』の支援対象に選定

2026年（令和8年）道の駅アリストぬまくま再整備基本計画の策定

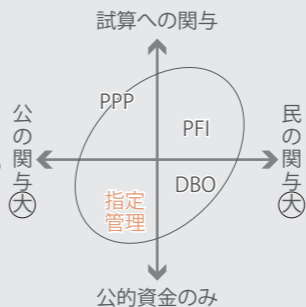
- ・検討会議、観光・体験部会、産直部会の実施
- ・交通量調査の実施
- ・機能、規模、施設配置の決定
- ・官民連携のあり方・手法の検討
- ・概算事業費の決定
- ・事業スケジュールの決定

検討会議	観光・体験部会	産直部会	シンポジウム
2025年 第1回：7/31 第2回：8/28 第3回：10/3 第4回：11/6 2026年 第5回：1/22	2025年 第1回：8/18 第2回：9/25 第3回：10/31 第4回：12/19	2025年 第1回：8/18 第2回：9/22 第3回：10/31	2025年 12/20

再整備基本計画の策定

4 事業手法

道の駅アリストぬまくまは2004年から指定管理者制度を導入し、地域等との連携によって農林水産業を中心とした地域活性化に取り組んでいます。



発注方式

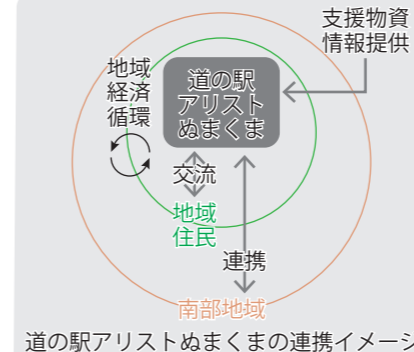
本事業では、分離発注方式を採用します。地元企業の参画を促進し、地域経済への波及効果を高め、地域住民や関係者との対話を設計段階から丁寧に重ねることを重視しています。

事業スケジュール

	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
基本計画	12カ月			プレオープン	リニューアルオープン
基本設計 実施設計		新施設設計 12カ月	解体設計 6カ月		2029年 10月
再整備 新施設建設			24カ月		
既存施設 解体 外構・ 駐車場整備				3カ月	3カ月

6 概算事業費

名称	費用（億円）
建設費	約13.3
外構整備費	約1.6
既存施設解体費	約0.85
設計費、工事管理費	約0.65
合計	約16.4



2 計画条件の整理

関連計画

- ・地域の拠点づくり戦略
- ・福山市観光振興基本戦略
- ・福山市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）（第5期）

道の駅としての前提

市と県が連携して整備する「一体型」の道の駅

道の駅を取り巻く状況

福山市は、「ばらのまちづくり」を契機に「世界パラ会議」を開催し、国際MICEの誘致・開催を通じ、都市競争力の強化を図っています。鞆の浦などの観光資源と多様な産業が集積する道の駅アリストぬまくま周辺は、観光と産業を結ぶ交流拠点として大きなポテンシャルを有しています。

5 維持管理・運営計画

管理・運営は市が指定した管理者が担います。



再整備期間中の運営計画

2029年10月のリニューアルを見据え、現行体制や利用状況を踏まえた取組の精査が必要です。再整備期間中も実施可能な事項を整理し、利用者への影響を抑えつつ優先度を定めて段階的に進めます。

7 事業実施に向けての課題と対応策

来年度以降の事業実施に向けての課題を整理し対応策を整理します。

事業化に向けた課題

1. 地域連携の具体化に関する課題と対応策
2. 南部地域の観光・体験機能の具体化に関する課題と対応策
3. 地域経済循環の促進と多機能化に関する課題と対応策
4. 災害対応に関する課題と対応策
5. 運営計画の最適化と指定管理者制度の整理に関する課題と対応策
6. 既存施設の営業をしながらの再整備に伴う課題と対応策